

会議結果報告

1 会議の名称

平成 27 年度第 1 回光市環境審議会

2 開催日時

平成 27 年 6 月 4 日（木）15 時から 16 時 40 分

3 開催場所

市役所本庁 3 階大会議室 1.2 号

4 出席人数

委員 13 名（1 名欠席）、事務局 7 人、県職員 1 人出席

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）委嘱状交付

市長から各委員に委嘱状を交付

（3）市長あいさつ

平素から環境分野のみならず、市政運営に格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りし厚く御礼を申し上げるとともに、2 年間委員としてよろしくお願ひしたい。

さて、先日、私が会長を務める日本の森・滝・渚全国協議会の構成自治体である長野県上松町に行って来た。上松町は、木曽檜の素晴らしい産地で、樹齢 300 年の檜が至る所に育っているところである。森林浴の森として大変有名なところであり、私も 3 時間ほど森の中を歩いたが、案内をしてくれた人が、この森は原生林ではなく、自然林であると言われた。その違いは人間が手を加えることにより森を守る、これが自然林であると言われた。また、森の歴史についても、江戸幕府からの伐採・禁止を繰り返しながら今に至ることを聞き、人間が適切な管理をすること、これこそが自然環境を守ることに繋がると思ったわけである。そして、そこから産業、文化、伝統、歴史が生まれてくるわけである。すなわち私たち人間と私たち以外が本当に上手にバランスをとることが自然環境を守ることだと改めて実感をした。

本市のこの素晴らしい海・川・山を皆様方とともにバランスを保ちながら守っていくことが非常に重要であると思っているので、ぜひ皆様方の貴重なご意見をよろしくお願ひしたい。

(4) 委員紹介

各委員が順に自己紹介

(5) 役員選出

会長に南委員、副会長に植村委員を選出

(6) 会長・副会長あいさつ

(南委員)

新しい委員の方は新しい環境政策を担う意見、そして元からおられる委員の方は豊富な知識をお持ちである。そうした意見や知識が出しやすい雰囲気づくりに努め、意見をすくい上げていきたいと思う。皆様方のご協力をお願ひしたい。

(植村委員)

環境についてはキリがない、やらなければ何も進まない、やればやるほどすることがあるのが環境である。皆様方のご協力をお願ひしたい。

(7) 議事

ア 光市の環境政策の体系について

映像資料に沿って、光市の環境政策の体系について事務局から説明

【質疑・意見等】

なし

イ 山口県の環境政策の取組みについて

映像資料に沿って、山口県の環境政策の取組みについて県職員から説明

【質疑・意見等】

(委員)

新しい取組みとして太陽光発電の電気を電波で送ることに成功したと発表され、2030年までには実用化したいとされている。その際には、現在の補助金事業などとの整合性は早めに情報収集をしてほしい。

下水道からメタンガスを使って電気を作ることや、下水道から水素をとることが実用化されている。下水道はどこにでもあり、それを活用することは有効と思われるがいかがか。

(県職員)

太陽光発電の新たな技術開発については、2030年の見通しが現時点では立たないが、時代の流れは常に県として把握しながら、どう推進していくか、情報収集をしていきたい。

下水道については、エネルギーの地産地消は先進的な取り組みであるため、県内の動向も注視しているところである。下水道処理施設は市町が運営しているものも多いため、県としても相談にのっていききたいと思っている。

ウ その他について

(事務局)

ごみ分別アプリ、雑がみのリサイクルについて説明。

今後の予定について、11月と3月開催予定について説明。

(8) 閉会

(部長あいさつ)

本日は市と県の取組みの説明をしたが、体系的なことも大事だが、身近な生活の中で解決を図っていかなければ、この素晴らしい光市の自然環境を後世に残していくことはできないと思っているので、今後とも皆様方のご協力をお願いしたい。